

## ESG投資を通じたSDGs達成に向けた取組みについて ～「サステナビリティボンド」の購入～

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、サステナビリティボンド（独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構発行）を購入しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

当行では、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みの一環として、サステナビリティボンドなどのESG債への投資を積極的に推進しております。

今後も、金融商品・サービスの提供を通じて、環境保全活動をはじめ、社会貢献活動に積極的に取り組む企業やお客様を支援してまいります。

### 記

#### ○購入したサステナビリティボンド（※）の概要

発行体	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
種類	サステナビリティボンド
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2020年8月28日
資金用途	環境負荷の低減や交通インフラの整備等

※サステナビリティボンドは、国際資本市場協会が定める「サステナビリティボンドガイドライン」等に則って発行された債券であり、環境負荷の低減を通じた環境改善や社会問題の解決等に資する事業への投資を目的としております。

#### 《本サステナビリティボンドに関連するSDGs》



#### SDGs

##### (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明しました。

以上

